

天井の楽園「穂高池巡り」—奥又白池—

日程：2016年9月2日（金）～4日（日）

メンバー：9名（OT（L）、TM、N、HW、HM、SM、OD、NH、FY）

報告：深澤 裕

秋の気配が感じられる上高地。9月2日の夕方4時にメンバー全員が徳沢園に集合しました。そうそうたるベテランの中に63歳の私が最年少ということで恐縮してしまいます。

私は憧れの徳沢園にテントを張りました。Nさんも隣にテントを張っています。徳沢園は涸沢に入るときや槍ヶ岳に入るときはいつも素通りしてしまい、なかなか泊まることのできない場所でした。40年近く思い焦がれていた徳沢の芝にテントを張れるのは楽しみです。今回の企画は「奥又白池」と「ひょうたん池」というまさにここをベースにした企画です。Nさんと私以外の皆さんは徳沢園に宿泊です。皆さんすでに風呂に入って寛いでいます。



徳沢園にて集合



徳沢園テント場

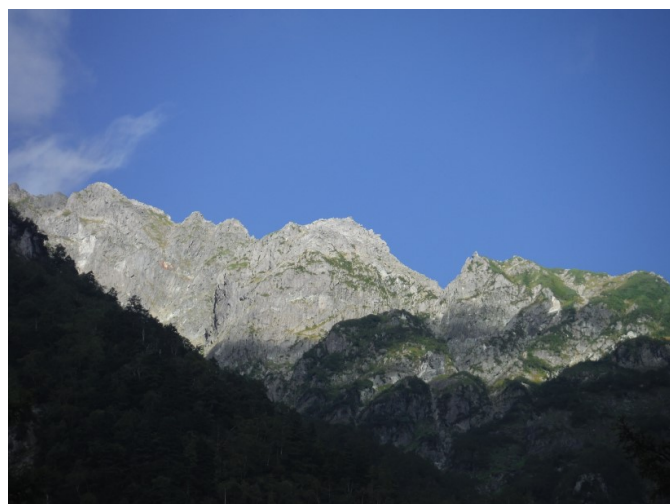
夕食前、徳沢園の「みちくさ食堂」で顔合わせ。OTさんからの明日の予定を伺い、懇親会を行います。Hさんは50年来の憧れの「奥又白池」に行けると興奮していました。この食堂に入って左側の壁には1958年にここで撮影された映画「氷壁」のスチールが4枚ほど飾ってありました。ODさんは58年前のここで撮影された映画「氷壁」の撮影スチールを見て「ひょっとしたら僕もこの映画にエキストラとして出演していたかも」と懐かしそうに語っていました。ODさんは「これが菅原謙二で川崎敬三だ。これが監督の増村保造。」などと説明して下さいました。「ぼくは浪人中だったからエキストラにでられなかったけれど、友達がエキストラで出演したんだよ。」と懐かしそうに語ってくれました。こんな昔の話はODさんでなければ語れません。私はこの映画は未見ですが、一度見てみたいものです。そ

のスチールは雪の中を撮影している監督を撮ったものや吹雪の中の俳優たちでした。50年をタイムスリップしたような話にワクワクしました。その後、テント泊のNHさんと二人で酒を呑みながら話を伺いました。先輩の話は嬉しいものです。「僕は63歳でアコンカグアに登り、68歳でチョ・オーユーに登ったんだよ」と語って下さいました。そのエネルギーの凄さに感動しました。

3日（土）私は初めての徳沢テント生活で興奮しています。4時頃起きてしまいました。トイレ・ストレッチ・BFと準備万端です。5時30分集合です。晴天です。皆さんお握り弁当を持って出かけます。山菜おこわを竹皮で包んだものです。新村橋を渡りパノラマコースに入ります。OTさんの話によるとこの辺りには200くらいの慰霊碑があるそうです。「奥又白池」はかつて前穂高岳に登るロッククライミングのベースキャンプとして使われていた場所だそうです。今はキャンプ禁止になっていますが多いときにはテントが50くらい張られていたそうです。歩いていると、確かに慰霊碑が目立ちます。厳しい岩場だったのでしょうか。



新村橋と前穂高岳



前穂高岳5・6の科尔と北尾根

奥又白谷を登っていくと、いよいよパノラマコースと奥又白池の分岐です。このあたりは藪がひどくて迷いましたが7時に松高ルンゼに入ります。今回はトップがNHさん。HMさん、TMさん、ラスト深澤の4人が続きます。残りの方々はこの分岐辺りで散策ということになりました。取つきにも慰霊碑がありました。昭和32年5月1日の熊本の登高会の碑で「君 永遠に 雄々 しかれ」と彫ってありました。かなり激しい登りですが道はしっかりとしています。沢の右側を巻いて登っていきます。厳しい所はカラビナを付けた長いシュリングで確保します。休んでいた9時30分頃、SMさんの声から聞こえてきました。何と彼女は一人で追いかけてきました。凄いです。ここから一緒に登ります。



突然現れた、奥又白池

2200mあたりで樹林帯を抜けると、前穂高岳の5・6のコルや北尾根が見えます。少しガスがかかっていますが迫力のある展望です。しばらく藪の細い道を行くと、突然その池は現れました。トップのNHさんがHMさんに道を譲り「どうぞ」と声をかけました。HMさんはそこに池が現れると思っていなかったようで「キャー。凄い」と大声をあげて喜んでいました。藪を越えると静かに水をたたえた奥又白池が突然現れました。

水は澄んで、中にサンショウウオが何匹か泳いでいます。前穂高岳をバックに記念写真を撮り、お弁当を頂きます。振り向くと蝶ヶ岳がどっしりと聳えています。上高地の谷側に横尾山荘が小さく眺められます。池の周りはテントがいくつも張れるくらい広かったです。OTさんは40代の頃、ここにテントを張って何度も前穂高岳に登っていたそうです。当時はテントだらけだったそうです。

私たちの後から来た若い男女の6人グループは、これから前穂高岳に登り、今夜は前穂頂上でテントを張ると言っていました。下りは快調で、約2時間30分で徳沢園に到着しました。皆さんがお出迎えしてくださいました。皆さんとビールで乾杯し、疲れを癒しました。この後、NHさんは用事があるためテントを担いで下山されました。

今回もう一つの、明神岳「ひょうたん池」まで登る予定でしたが翌日の天気が悪いという予報でした。残念ですが中止。来夏、挑戦しましょうとOTさんは言っていました。

その夜、激しくテントを打つ雨粒の音で目が覚めました。明け方まで雨が残っていました。このくらいの激しい雨なら諦めもつきます。

今回、「徳沢園」にテントを張ることができたことは至福でした。また、ベテランの先輩方と一緒に山を楽しめた時間を忘れることができません。70代を充実した山歩きで過ごされている皆さんを見習いたいと改めて思いました。HWさんは月に何度も高尾山に登られているそうです。高尾山の四季の草花の話をして下さいました。OTさんには個人ではなかなか登れないすばらしい池を紹介していただきました。どうもありがとうございました。来夏の「ひょうたん池」も楽しみです。

私はテントを撤収して更にもう一泊。「山のひだや」で上高地を堪能しました。

<コースタイム>

9月3日(土)

5:45 徳沢園 発 → 6:00 新村橋 → 7:09 迷った末の再スタート分岐 → 9:29 SMさん追いつく → 9:58 奥又白池着 標高2477m → 13:15 徳沢園 着